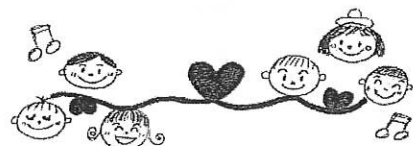


王喜の郷の輪 第3回  
トニー ブースさん (3/3)  
(職員の夫)  
Giddy all, this is my third and final article for Tampopo.  
I hope you have enjoyed them so far.(以下日本語訳)

みなさんこんにちは(Giddy all)、「王喜の郷の輪」3回目、そして私の最後の記事となります。皆さんに楽しんでいただけていたら幸いです。  
今月は私達の新しい家についてお話しします。この家は明治時代に建てられた、伝統的な日本家屋です。木製の梁に支えられ、内壁の代わりに引き戸のある4つの畳の部屋。家の一方には広い土間、そして窓に沿った縁側が家の正面、後側にあります。この家はニュージーランドの伝統的なビクトリア朝の家とは全く違います。ニュージーランドの古い家は家の入口から長い廊下があり、リビングルームが一番奥に、寝室が廊下の左右にあります。それぞれの部屋の一面には大きな窓があり、他の面は壁で囲まれています。日本家屋は壁が少なく引き戸を開ければ壁に換気を邪魔されることなく部屋から部屋へ空気を入れることができますが、ニュージーランドの家はそうはいきません。  
日本家屋のマイナス面を一つだけ挙げるならば、私にとってはかもちが低くてよく頭を打つことですね！




## 「洋食談義」

「とんかつ」と「ポークカツレツ」は同じ食べ物だと思っている人が多いようです。しかし、池波正太郎「むかしの味」(新潮文庫)に「豚肉をカツレツにすることが日本に流行したのは大正の関東大震災以後のことで、それまではビーフカツレツが主導権をにぎっていたようだ。いわゆる豚カツの流行も、その時からである。しかし、とんかつとポークカツレツとは違う。」とあるように「とんかつ」と「ポークカツレツ」は違うのです。「ポークカツレツ」は豚肉にコロモとパン粉をつけ、たっぶりのラードを使用して揚げ、赤ワインをベースとしたデミグラスソースをたっぶりにかけて食べます。私が「ポークカツレツ」を生まれて初めて食べたのは今から18年前、亡くなられた歌手の二葉あき子先生から夕食にご招待いただいた時でした。二葉先生の生まれ故郷は、広島駅の目の前の「二葉の里」という所で、そこにホテルと結婚式場が一緒になった「弥生会館」があり、1階のグリルで初めて一緒に食事をさせていただきました。その時、テーブルに運ばれて来たのが生まれて初めての「ポークカツレツ」でした。食べた瞬間のサクサクのコロモと豚肉のジューシーな肉汁にデミグラスソースが溶け込んだ絶妙な美味しさは衝撃的でした。あの日の会食の緊張感と感動は忘れる事ができません。それと忘れる事ができないのが、89歳の二葉先生は何も召し上がらず、ひたすらジョッキでビールを飲まれていた事です。昨年、亡くなった俳優の田村正和も同じだったようですが、本当のスターは人前では食べる姿を見せないということを知りました。

さて、下関に戻り、あの「ポークカツレツ」の味が忘れられず、また食べたいと思いました。しかし、海に囲まれている下関は新鮮な魚を売りにした居酒屋や和食の店ばかりが軒を並べ、魚食文化が盛んで洋食文化が発展しない地域である事をしみじみと感じました。その中、数少ない現代風のフレンチレストランでは「ポークカツレツ」どころか「とんかつ」すらメニューにはありません。昔ながらの「大衆洋食屋」でなければ食べる事ができないのです。そんな昔から続く老舗洋食店など見渡す限り海に囲まれた街では聞いた事ありませんでした。しかし、ある人の紹介で下関にも、たった一軒あったのです。この続きは次月号に記す事にしましょう。

ミントの家 山根 徹

特集「東京の歌」  
バラダイス・花の東京〜東京・歌の旅〜  
「東京アンナ」「東京午前三時」「東京の灯よいつまでも」ほか  
日時 九月七日(ケアハウス王喜の郷・食堂)十三時三十分〜十五時  
九月二十八日(シニアハウス王喜の郷・食堂)十三時三十分〜十五時  
♪懐かしいあの日、あの時の思い出が鮮やかによみがえるコンサートをお楽しみください♪  
【会費】 三〇〇円(お茶代・資料代)  
【お問い合わせ】山根(ミント) 中村(ケアハウス)



# たんぽぽ通信

9月1日発行 187号  
ケアハウス王喜の郷 令和4年9月号

Webページ <http://www.ryokujukai.jp>

暑さ寒さも彼岸まで あと少しですこの暑さも。慣れない天候の変化で体調を崩されていませんか。健康の要はタンパク質をしっかりとることと筋肉を体につけることの2つです。提供させて頂いている毎日の食事をしっかりとられ、自分の体をしっかりと使ってやってください。朝7時45分からの食堂でのラジオ体操も欠かさずに毎日続けられてください。体は正直者です。

さて9月16日9時からニコニコミーティングを行います。第三者委員の的場・藤井両委員、松本理事の3名も参加です。ケアハウスの共同生活の中でどうしても「我慢している」「やめてほしい」「聞いてほしい」ことがありましたら事前にメモでも伝言でも構いません。職員にお伝えください。もやもやを解決しましょう。皆様のご参加やご意見を待っています。

施設長 末谷千秋

## 9月のお誕生日 & 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
				1 二百十日	2	3
4	5	6	7 レトロコンサート	8 白露	9 重陽の節句	10 中秋の名月
11	12	13	14	15	16 9:00~ ニコニコミーティング	17
18	19 ビューティーヘルパー敬老の日	20 彼岸入り避難訓練	21	22	23 秋分の日	24
25	26	27	28 レトロコンサート	29	30	

\*誕生日: お名前記載の方の誕生日です。ささやかなカードとお菓子をプレゼントさせて頂いております。

\*\*\*ビューティーヘルパー: 出張の理美容です。食堂白板に申込みを貼っています。ご記名ください。

\*\*\*\*イズミ行き: 午後1時出発、2時半頃帰着。長府ゆめタウンへの買い物バスです。(月に5回)⇒しばらくお休み。

\*\*\*\*\*レトロコンサート: 午後1時半~3時 昔懐かしいレコードやビデオを観たり、歌ったりお茶もあります。

☆第1水曜日はケアハウス食堂・第4水曜日は隣のシニアハウス。同じ内容です。参加費300円

\*\*\*\*ななの会(習字)はお休みさせていただきます。

## ケアハウス王喜の郷

「暑い、暑い…」朝出勤時の挨拶、配食時の声掛け等々、「暑いですね」の一言。何回口にしたことか。おまけに感染対策のマスクをつけて。汗だくです。視点を変えると今年も近年になく、「暑い夏でした」。夏の甲子園で下関国際が素晴らしい活躍をしました。この上なく熱く、感動しました。選手の活躍のおかげか暑さも熱さで吹き飛び、最近朝晩少し過ごし易くなりました。選手の皆さんありがとう。

ところで、昨今、日本各地で、地球温暖化が原因と思われる異常気象による災害が多く発生しています。世界においても南の島では国土がなくなることが危惧されています。学者が何年も前から予想したことが現実のものに成りつつあります。当時一般人は私を含めて他人様の様に考えていたのではないのでしょうか。日本を取り巻く環境は、自然災害はもとより、特にウクライナ戦争を契機に経済・国防など安全保障面で様々な「危険」が現実のものとなりつつあります。現実のものとならないことを切に祈るばかりです。

最後に、早く宝くじに当たらないかなあ！??……。



配食担当 吉坂学

## ケアハウス王喜の郷(厨房)

私は2019年に初めて技能実習生として日本に来ました。年が過ぎて来月帰国します。日本に来た時、日本語が下手で漢字が全く読めなかったのですが今は日本人と一緒に仕事もすること日本語が上達し漢字も少し読めるようになりました。仕事では河内さんに沢山の日本料理も教えてもらいました。ベトナムに戻ってから学んだ料理も家族や友人に楽みでもらいたいと思っています。皆の上司方と同僚方仕事の事も色々教えてくれました。大変お世話になりました。本当にありがとうございました。皆さんお元気で時間があつたらベトナムに行つて見てくわさい。

レーティウエン

## 王喜の郷デイサービスセンター

初めまして。7月4日より、看護職員として勤務しております高野早苗(こうのさなえ)と申します。

病院での勤務は長いのですが、デイサービスでの仕事は、経験が浅く戸惑う事も時々あります。

デイサービスは、広いフロアに窓の外には緑が多く、気持ちの良い環境の中で、落ち着いて仕事をさせて頂いています。

1日も早く利用者の皆さんの事を理解し、看護職員として機能訓練の課題に取り組み、今まで以上に元気に過ごして頂けるよう、お手伝いをしたいと思っています。

どうぞよろしくお願い致します。



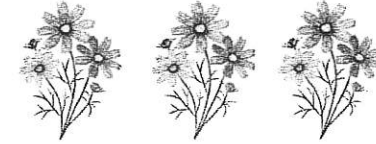
看護職員 高野 早苗

## グループホーム王喜の郷

グループホームでは、毎月入居者の皆さんと大きな壁紙を作っています。9月は折り紙を使って、コスモスの花を飾るようにしています。入居者の方は「壁紙ができるのを楽しみに待っているよ。」と言ってくださいます。他にも色ぬりや本を読んだり、カード遊び、計算ドリルなど皆さんがされたいことにお一人お一人取り組んで過ごして頂いています。

まだまだコロナの終息が見えていない中で、入居者の方も職員も一緒に感染防止対策を取りながら頑張っています。

ご家族の方には面会を控えて頂くなど、対策にご理解を頂きありがとうございます。



介護職員 梅田 美樹

## 王喜の郷居宅介護支援センター

私は今ケアマネの更新研修を受けています。ケアマネは5年ごとに更新研修を受けないと業務ができません。更新を受けることにより、必要な専門知識や技術の習得を図り、専門職としての能力の保持・向上を図ることを目的としています。

ケアマネの原点は生きることに寄り添うことだと学びました。コロナの感染者が増え、外出制限や家族との面会制限、食事の時に会話をしない等、我慢することが多く、ストレスが溜まっている方もおられるのではないのでしょうか？ 介護のことだけでなく、ケアマネにも相談に乗れることがあるかもしれません。何かお困りのことがあれば何でも言って下さい。少しでも不安を取り除き、安心して生活をして頂けるように支援させて頂きたいと思っています。

介護支援専門員 田邊 美江

## 王喜の郷ホームヘルパーステーションいるか

ヘルパーの生活援助の主な支援内容は、掃除・買い物調理・洗濯です。全ての家事において個人個人にこだわりがあります。ある程度マニュアルがあれば、掃除、買い物、洗濯支援を統一できますが、調理は利用者の方で特徴が大きく現れます。あらかじめ利用者の方の病歴やアレルギーなどの情報を共有し、身体状況に応じて食材の大きさや固さを調整します。また、利用者の方の好みの味も多種多様です。味付けは利用者の希望を聞きながら、ヘルパー同士で共有し徐々に同じ味の料理を提供していきます。

健康に気をつけながら、利用者の方の好みの調理をし、少しでも長く住み慣れた在宅生活を続けていけるように支援していきます。日々、ヘルパーとして利用者の方に関わり、支援できることにやり甲斐を感じています。

サービス提供責任者 庄山 里美

## 王喜の郷ミントの家 シニアハウス王喜の郷

7月よりミントの家の業務に就き1ヶ月半が経ちました。ちょうどお盆を迎えた今、原稿を書いています。

昨年、父が他界し母と暮らすことを選択して新たな生活を始めました。一緒に暮らすと離れて生活していたころは気付かなかった年を重ねた母の衰えを感じました。日々の生活も落ち着き、仕事を再開しようと思つたのがこちらの介護施設でした。このタイミングでの出会いは不思議なご縁だと思います。

人生の終焉を迎える時がいつ来るのかは誰にも予測できないものだ実感した父との別れ、人生の終盤をどのように母には過ごしてもらいたいのか、利用者の方々の穏やかな顔を見ながら思います。人と関わって生きること、そこに笑顔が生まれる、日々発見があり、新たな学びを感じています。

ミントの家 上田 敦子

## 放課後等デイサービス さくら

今年の夏休みには、さくら初の夏祭りを行いました。子ども達に魚釣りの魚のデザイン、色塗りをしてもらい、彩り豊かな魚ができました。水風船釣りは、やったことのある子も多く、釣り上げる時に落として「あーあ」という声もあがりました。

初めての事が苦手で、魚釣りの声かけにずっと拒んでいた子が友達と一緒にする事で種目にトライする事は難しかったのですが、竿を持って釣る姿勢をとることが出来ました。回数のルールを守れなかった子が終わりには守る事が出来るようになりました。準備から熱心にやってくれた子からは「今までで一番楽しかった」と感想ももらいました。

今後も子ども達が、より楽しいと言ってくれる「さくら」を支援員一同考えていきたいと思っています。

さくら支援員 塩谷 一雅